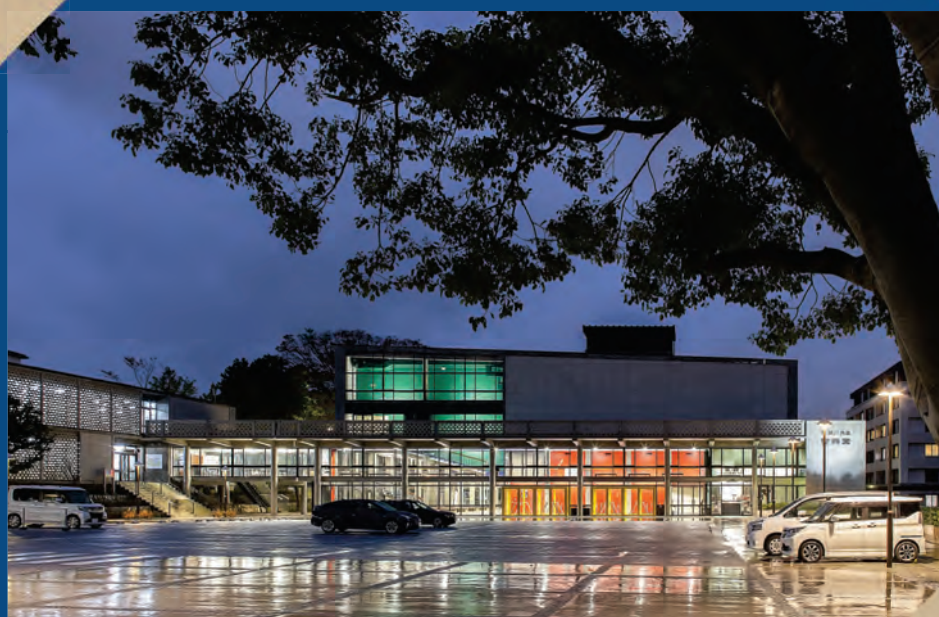


県立音楽堂の開館



音楽堂全景(夜景) © 畑 亮

戦後モダニズム建築の傑作、美しい響き

県立音楽堂は、昭和29（1954）年、日本で初めての本格的な公立音楽専用ホールとして、隣接する図書館とともに開館しました。

ロンドンのロイヤルフェスティバルホールをモデルに、最高の音響効果をあげるように設計されたホールは、壁面がすべて木で作られ、開館当時『東洋一の響き』と絶賛されました。海外からも高い評価を受け、日本の戦後音楽演奏史の一角を担ってきた美しい響きと巨匠・前川國男まえかわくにおの設計によるモダニズムデザインは、今でも人々に感動をあたえ、県民の音楽活動の場としても愛され続けています。

令和3（2021）年に県立図書館・音楽堂が神奈川県指定重要文化財（建造物）に指定されました。



開館当時 前川建築設計事務所提供



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ